資　料　３

令和５年度

決 算・業 務 実 績 の 概 要

地方独立行政法人山口県立病院機構

目　　次

１．総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について　…… 1

２．こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について　…… 5

３．山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について　…… 9

４．令和５年度収支実績の前年度対比　…… 13

５．令和５年度収支計画と収支実績の対比　…… 15

６．令和５年度業務実績評価…… 17

令 和 ６ 年 ６ 月
山口県立病院機構

総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

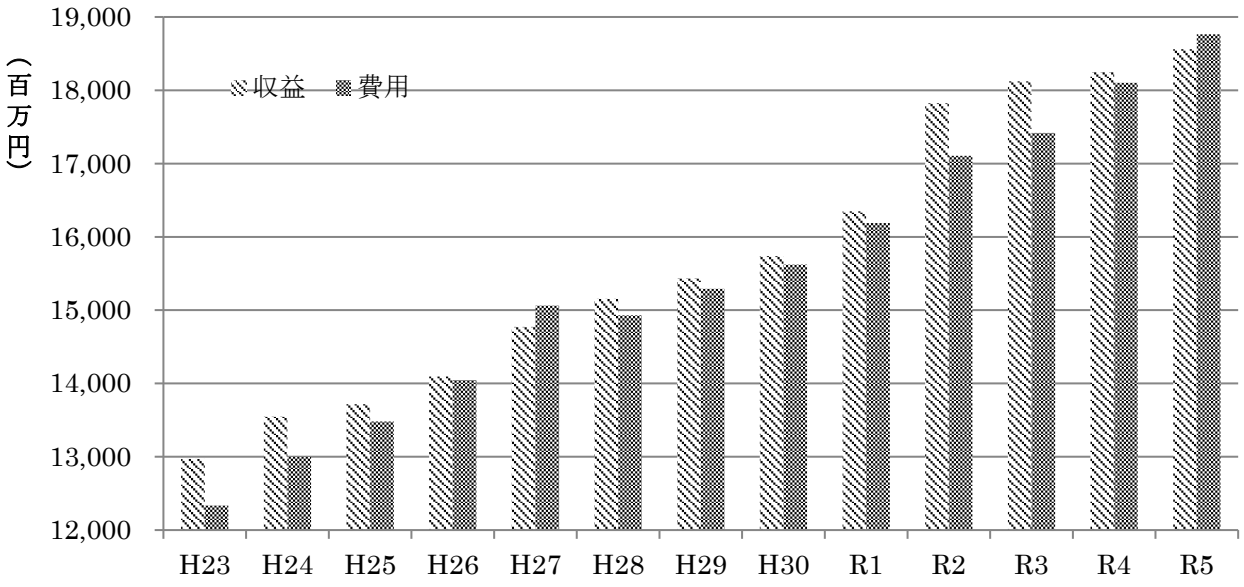
１　令和５年度決算の概況（本部費配賦額込）

決　算　規　模		［収　益］185 億 6,100 万円（前年度比＋3 億 1,200 万円 +1.7%） ［費　用］187 億 6,400 万円（前年度比＋6 億 6,300 万円 +3.7%）
	収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の増等により増加
	費用の状況	○ 医業費用は、給与費や材料費の増等により増加
経　常　損　益		○ 1 億 8,800 万円の赤字
純　　損　　益		○ 2 億 300 万円の赤字
総　　損　　益		○ 1 億 4,800 万円の赤字　※目的積立金取崩額 5,600 万円を含む

２　決算規模・決算収支

○　決算規模は、収益 185 億 6,100 万円、費用 187 億 6,400 万円となり、収益・費用とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加傾向
○　経常損益、純損益ともに赤字

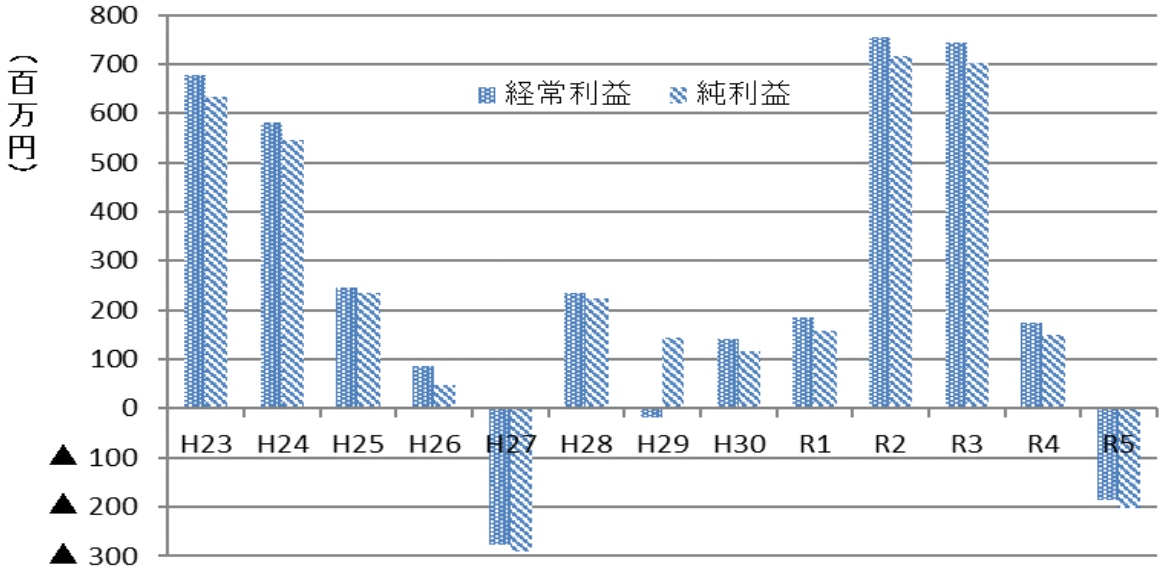
(1)　決算規模の推移



（単位 百万円、%）

年　　度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
収　　益	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121	18,249	18,561
前年度比	－	4.4	1.2	2.8	4.8	2.6	1.9	2.0	3.9	9.0	1.7	0.7	1.7
費　　用	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190	17,107	17,418	18,101	18,764
前年度比	－	5.4	3.7	4.2	7.2	▲ 0.9	2.4	2.2	3.6	5.7	1.8	3.9	3.7

(2)　決算収支（経常損益・純損益）の推移



※平成 27 年度の経常損益、純損益の赤字は、市場金利の低下により将来の退職金給付による費用を計上したため

（単位 百万円）

年　　度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
経常損益	678	581	245	87	▲ 278	234	▲ 20	140	184	754	745	174	▲ 188
純 損 益	635	545	234	48	▲ 291	224	143	115	157	715	703	148	▲ 203

■赤字に至った要因について
・引き続きコロナ患者を受入れる中、10 月以降にはコロナ特例による手厚い診療報酬体系から通常の診療報酬体系に移行されたため。
・コロナ患者の診療を感染症専用病棟から、各一般病棟で行うように運用を変更したことから、コロナ患者が発生した際に、感染対策上稼働が制限される病床が発生することにより、病床利用率の低下を招き、利益が確保できなかったため。

3　目的積立金取崩額について

（単位 百万円、％）

区　　分			金額（収支ベース）
Ⅰ	医療従事者等確保積立金		40
	①現医療従事者等の処遇向上		12
		医師のインセンティブ制度	4
		看護師の処遇向上（夜勤協力手当等）	8
	②医師の確保（てんかん支援拠点病院運営）		2
	③看護師の確保(山口県看護協会との連携、看護師修学資金支援等)		9
	④薬剤師の確保（山口東京理科大との連携等）		5
	⑤臨床工学技士の確保（能力向上研修等）		2
	⑥総合的な医療従事者等の確保（山口大学附属病院等への出捐）		10
Ⅱ	施設・設備整備等積立金		16
	①機器等整備費（勤怠管理システム運用等）		10
	②設置等工事費（大講堂改修等）		6
合　　計			56

4　収益

○　医業収益は、新規入院患者の増等により、前年度比＋9億7,600万円（+6.3%）
- 入院診療収益は、整形外科や循環器内科などの新規入院患者の増等により前年度比＋6億7,700万円（＋6.1%）
  新規入院患者数　R4：10,852人→R5:11,055人（203人）
- 外来診療収益は、診療単価（薬物療法や透析患者等）の増等により前年度比＋2億6,000万円（＋6.5%）

（単位　百万円、%）

区分	R5	R4	比較 増減額	比較 増減率
営業収益	18,483	18,171	312	1.7
うち医業収益	16,375	15,399	976	6.3
うち入院診療収益	11,838	11,161	677	6.1
うち外来診療収益	4,267	4,007	260	6.5
うち運営費負担金	1,311	1,323	▲ 12	▲ 0.9
うち補助金収益	551	1,194	▲ 643	▲ 53.9
営業外収益	78	77	1	1.3
うち運営費負担金	5	5	0	0.0
臨時利益	0	1	▲ 1	－
総収益	18,561	18,249	312	1.7
目的積立金取崩額	56	71	▲ 15	－
合計	18,617	18,320	297	1.6
運営費負担金合計	1,316	1,328	▲ 12	▲ 0.9

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

（単位 百万円）

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
営業収益	12,851	13,434	13,578	13,994	14,651	15,044	15,164	15,594	16,256	17,754	18,053	18,171	18,483
うち医業収益	11,146	11,838	12,243	12,599	13,265	13,647	13,848	14,265	14,936	14,619	14,540	15,399	16,375
うち入院診療収益	8,308	8,917	9,398	9,602	10,020	10,148	10,332	10,623	11,020	10,783	10,346	11,161	11,838
うち外来診療収益	2,550	2,676	2,607	2,760	2,985	3,220	3,233	3,369	3,648	3,607	3,910	4,007	4,267
うち運営費負担金	1,539	1,422	1,153	1,161	1,156	1,155	1,082	1,085	1,092	1,202	1,384	1,323	1,311
うち補助金	99	90	75	103	69	64	64	72	76	1,767	1,877	1,194	551
営業外収益	117	113	139	100	120	109	100	143	91	68	68	77	78
うち運営費負担金	37	32	26	23	21	14	12	10	8	7	6	5	5
臨時利益	2	0	0	0	0	0	170	0	0	0	0	1	0
総収益	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121	18,249	18,561
目的積立金取崩額												71	56
合計	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121	18,320	18,617
運営費負担金合計	1,576	1,454	1,179	1,184	1,177	1,169	1,094	1,095	1,100	1,209	1,390	1,328	1,316

5　費用

○　医業費用は、給与費や材料費の増等により、前年度比＋5 億 7,800 万円（＋3.4%）

・給与費は、給与改定等により増加

・材料費は、手術件数や薬物療法の増等による診療材料費や医薬品費等の増により増加

・経費は、医療機器などの機器賃借料の増等により増加

・控除対象外消費税等は、手術用ロボット購入に係る増等により前年度比＋4,300 万円（＋5.5%）

（単位　百万円、%）

区　　分	R5	R4	比較 増減額	比較 増減率
営業費用	18,732	18,063	669	3.7
医業費用	17,743	17,165	578	3.4
うち給与費	8,863	8,663	200	2.3
うち材料費	5,085	4,754	331	7.0
うち経費	2,530	2,476	54	2.2
うち減価償却費	1,168	1,218	▲ 50	▲ 4.1
うちその他医業費用	96	54	42	77.8
本部配賦額	158	110	48	43.6
控除対象外消費税等	831	788	43	5.5
営業外費用	16	12	4	33.3
臨時損失	16	26	▲ 10	▲ 38.5
総　　費　　用	18,764	18,101	663	3.7

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

（単位 百万円）

区　　分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
営業費用	12,226	12,910	13,425	13,966	15,007	14,894	15,259	15,531	16,149	17,054	17,365	18,063	18,732
医業費用	11,777	12,490	13,007	13,298	14,350	14,272	14,651	14,827	15,397	16,099	16,461	17,165	17,743
うち給与費	6,079	6,201	6,388	6,743	7,420	7,179	7,506	7,587	7,622	8,194	8,284	8,663	8,863
うち材料費	3,244	3,400	3,617	3,591	3,790	3,941	4,078	4,217	4,511	4,460	4,518	4,754	5,085
うち経費	1,584	1,802	1,909	1,936	1,979	1,956	2,031	1,984	2,088	2,249	2,289	2,476	2,530
うち減価償却費	838	1,048	1,043	973	1,108	1,149	986	987	1,126	1,169	1,338	1,218	1,168
うちその他医業費用	33	40	51	54	53	48	49	53	49	26	33	54	96
本部配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111	96	109	152	110	158
控除対象外消費税等	323	300	295	552	489	502	514	593	656	847	752	788	831
営業外費用	64	56	46	41	45	24	20	66	14	14	11	12	16
臨時損失	45	36	11	39	10	10	12	25	27	40	42	26	16
総　　費　　用	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190	17,107	17,418	18,101	18,764

※本部配賦額は、労務比率の見直しにより、8（総合）：2（こころ）に割合変更

令 和 ６ 年 ６ 月
山口県立病院機構

こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

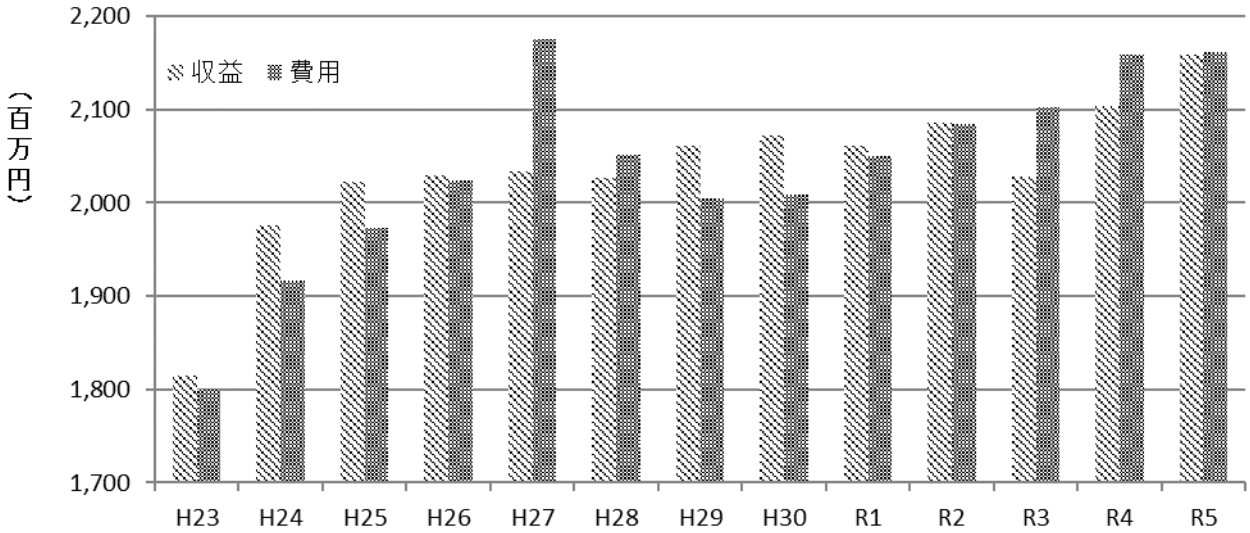
１　令和５年度決算の概況（本部費配賦額込）

決　算　規　模		［収　益］21 億 5,700 万円（対前年度比＋5,400 万円＋2.6%） ［費　用］21 億 6,600 万円（対前年度比　＋700 万円＋0.3%）
	収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の増により増加
	費用の状況	○ 医業費用は、減価償却費の減等により減少
経　常　損　益		○ 900 万円の赤字
純　　損　　益		○ 900 万円の赤字
総　　損　　益		○ 600 万円の赤字　※目的積立金取崩額 300 万円を含む

２　決算規模・決算収支

○　決算規模は、収益 21 億 5,700 万円、費用 21 億 6,600 万円となり、前年度決算額より収益は増加し、費用についても増加
○　平成 29 年度以降、４年連続で黒字を維持していたが、令和 3 年度以降は経常損益、純損益とも赤字

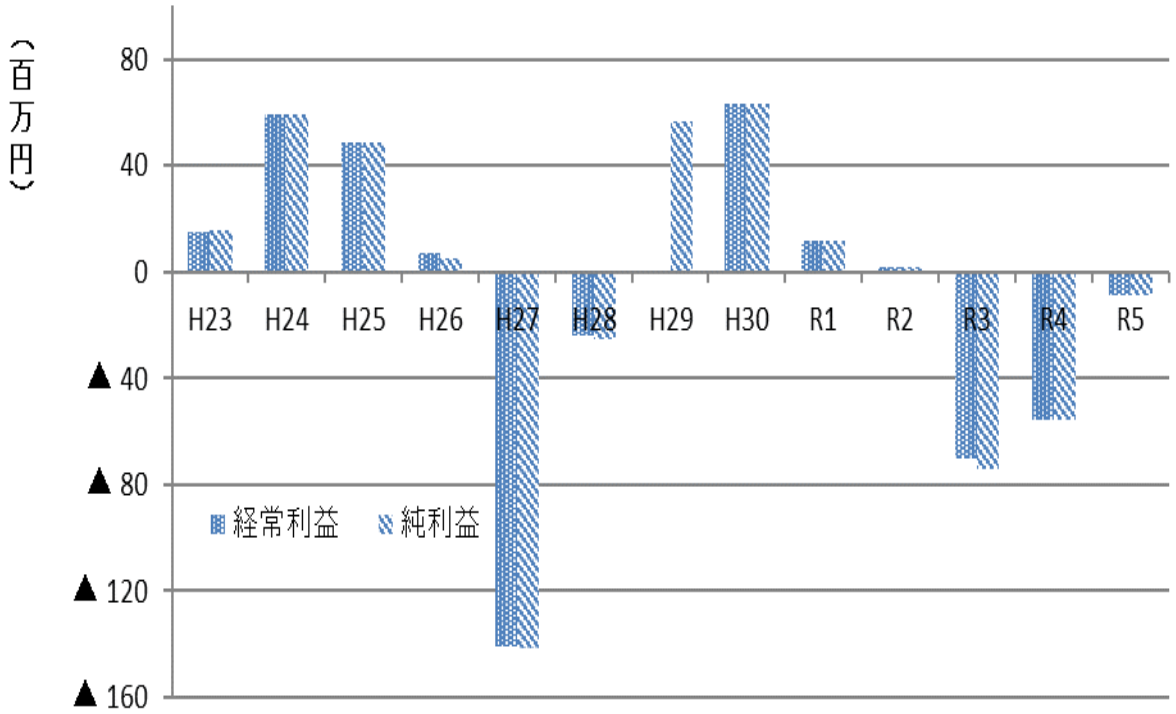
(1)　決算規模の推移



（単位 百万円、%）

年　　度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
収　　益	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028	2,103	2,157
前 年 度 比	－	8.9	2.3	0.3	0.2	▲ 0.3	1.7	0.5	▲ 0.5	1.2	▲ 2.8	3.7	2.6
費　　用	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049	2,084	2,102	2,159	2,166
前 年 度 比	－	6.6	2.9	2.6	7.5	▲ 5.7	▲ 2.3	0.2	2.0	1.7	0.9	2.7	0.3

(2)　決算収支（経常損益・純損益）の推移



※平成 27 年度の経常損益、純損益の赤字は、市場金利の低下により将来の退職金給付による費用を計上したため

（単位 百万円）

年　　度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
経常損益	15	59	49	7	▲ 141	▲ 24	0	63	12	2	▲ 70	▲ 56	▲ 9
純　損　益	16	59	49	5	▲ 142	▲ 25	57	63	12	2	▲ 74	▲ 56	▲ 9

3　目的積立金取崩額の内訳

（単位 百万円、%）

区　　分	金額（収支ベース）
Ⅰ　医療従事者等確保積立金	3
①現医療従事者等の処遇向上	3
医師のインセンティブ制度	1
看護師の処遇向上（夜間保育料全額支給等）	2
合　　計	3

4　収益

○　医業収益は、入院延患者数の増等により、前年度比＋4,600 万円（+2.9%）
- 入院診療収益は、輪番対応に伴う精神科救急延患者数の増等により増加
- 外来診療収益は、専門医の退職に伴う児童思春期対象患者の減等により減少

（単位　百万円、%）

区分	R5	R4	比較 増減額	比較 増減率
営業収益	2,137	2,085	52	2.5
うち医業収益	1,624	1,578	46	2.9
うち入院診療収益	1,420	1,369	51	3.7
うち外来診療収益	204	208	▲ 4	▲ 1.9
うち運営費負担金	408	400	8	2.0
うち補助金	31	31	0	0.0
営業外収益	21	18	3	16.7
うち運営費負担金	8	8	0	0.0
臨時利益	0	0	0	−
総収益	2,157	2,103	54	2.6
目的積立金取崩額	3	3	0	−
合計	2,160	2,106	54	2.6

運営費負担金合計	415	408	7	1.7

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

（単位 百万円）

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
営業収益	1,779	1,948	1,995	2,007	2,011	2,007	1,987	2,056	2,047	2,071	2,013	2,085	2,137
うち医業収益	1,392	1,394	1,520	1,566	1,563	1,542	1,519	1,596	1,582	1,522	1,506	1,578	1,624
うち入院診療収益	1,228	1,203	1,323	1,357	1,351	1,323	1,300	1,370	1,351	1,304	1,284	1,369	1,420
うち外来診療収益	163	191	196	208	211	218	219	225	231	217	221	208	204
うち運営費負担金	313	382	352	350	367	381	395	386	393	393	380	400	408
うち補助金	33	121	34	3	3	2	2	3	2	87	54	31	31
営業外収益	35	28	26	22	22	19	17	16	14	15	15	18	21
うち運営費負担金	29	21	20	17	16	15	11	10	10	9	8	8	8
臨時利益	1	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0
総収益	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028	2,103	2,157
目的積立金取崩額												3	3
合計	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028	2,106	2,160
運営費負担金合計	342	403	372	367	383	396	406	396	403	402	388	408	415

５　費用

○　医業費用は、減価償却費の減等により前年度比▲2,500 万円（▲1.2%）
- 給与費は、給与改定の増等により増加
- 経費は、入院延患者数の増加に伴う給食委託費の増等により増加
- 減価償却費は、電気設備における建物附属設備の減等により減少

（単位 百万円、%）

区　　分	R5	R4	比較 増減額	比較 増減率
営業費用	2,149	2,140	9	0.4
医業費用	2,060	2,085	▲ 25	▲ 1.2
うち給与費	1,477	1,468	9	0.6
うち材料費	100	97	3	3.1
うち経費	347	321	26	8.1
うち減価償却費	128	192	▲ 64	▲ 33.3
うちその他医業費用	8	7	1	－
本部配賦額	39	11	28	254.5
控除対象外消費税等	49	44	5	11.4
営業外費用	17	19	▲ 2	▲ 10.5
臨時損失	0	0	0	－
総　　費　　用	2,166	2,159	7	0.3

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

（単位 百万円）

区　　分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
営業費用	1,741	1,874	1,933	1,988	2,143	2,021	1,982	1,987	2,030	2,066	2,081	2,140	2,149
医業費用	1,699	1,812	1,895	1,943	2,092	1,976	1,941	1,945	1,983	2,007	2,022	2,085	2,060
うち給与費	1,187	1,273	1,302	1,354	1,506	1,397	1,371	1,364	1,415	1,439	1,428	1,468	1,477
うち材料費	78	87	93	89	94	99	87	88	90	89	91	97	100
うち経費	233	251	267	262	259	249	255	269	274	279	288	321	347
うち減価償却費	193	190	225	230	224	224	222	218	198	199	212	192	128
うちその他医業費用	8	11	8	8	9	7	7	6	6	2	2	7	8
本部配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12	11	12	17	11	39
控除対象外消費税等	26	48	23	30	30	30	29	30	36	47	43	44	49
営業外費用	58	44	39	34	32	29	23	21	19	18	17	19	17
臨時損失	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0
総　　費　　用	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049	2,084	2,102	2,159	2,166

※本部配賦額は、労務比率の見直しにより、8（総合）：2（こころ）に割合変更

令 和 ６ 年 ６ 月
山口県立病院機構

山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について

１　令和５年度決算の概況

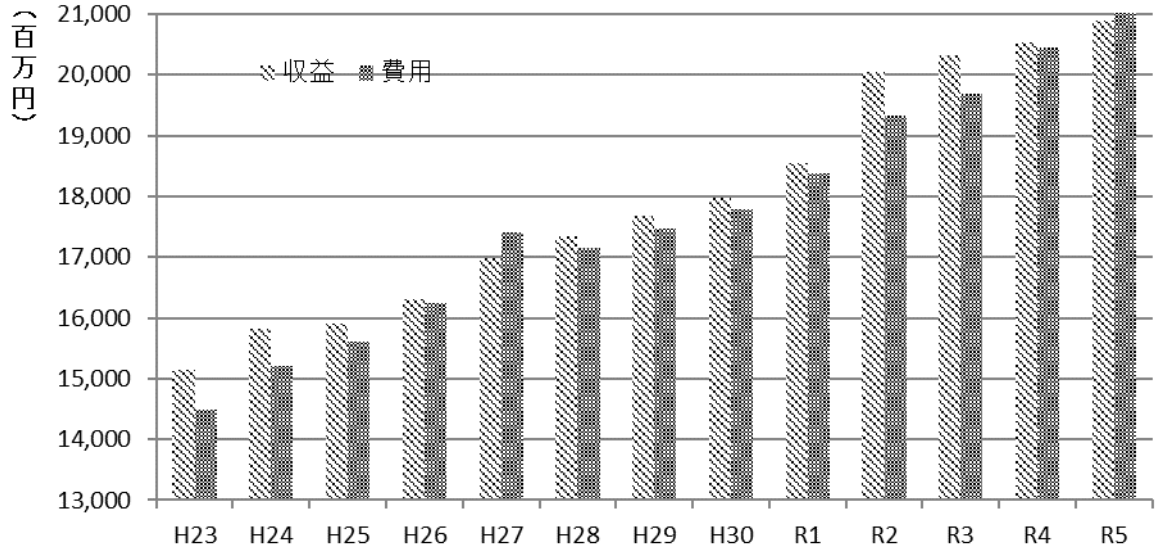
決　算　規　模		［収　益］208 億 9,900 万円（対前年度比 +3 億 6,000 万円 +1.8%） ［費　用］211 億 1,100 万円（対前年度比 +6 億 6,400 万円 +3.2%）
	収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の増等により増加
	費用の状況	○ 医業費用は、給与費や材料費の増等により増加
経　常　損　益		○ 1 億 9,600 万円の赤字
純　　損　　益		○ 2 億 1,200 万円の赤字
総　　損　　益		○ 1 億 5,300 万円の赤字　※目的積立金取崩額 5,900 万円を含む

利 益 剰 余 金	○ 残高は、21 億 300 万円　※次期中期目標期間繰越額

２　決算規模・決算収支

○　決算規模は、収益 208 億 9,900 万円、費用 211 億 1,100 万円となり、収益・費用とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加する傾向
○　経常損益、純損益ともに赤字

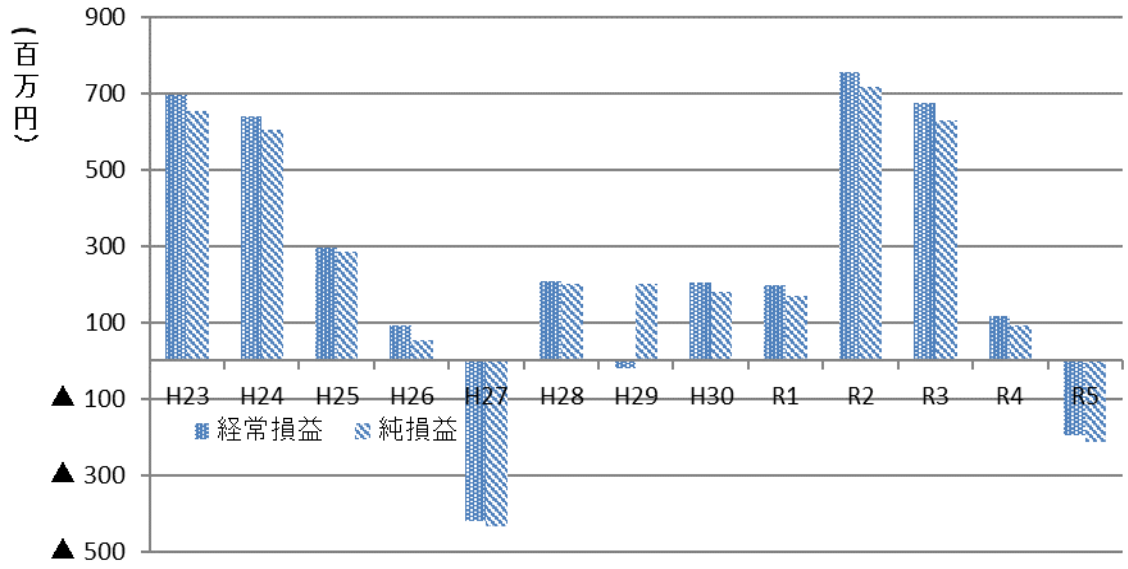
(1)　決算規模の推移



（単位 百万円、%）

年　　度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
収　　益	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324	20,539	20,899
前 年 度 比	－	4.5	0.5	2.5	4.2	2.2	1.9	1.7	3.2	8.1	1.3	1.1	1.8
費　　用	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388	19,338	19,695	20,447	21,111
前 年 度 比	－	5.1	2.7	4.0	7.2	▲ 1.5	1.9	1.8	3.3	5.2	1.8	3.8	3.2

(2)　決算収支（経常損益・純損益）の推移

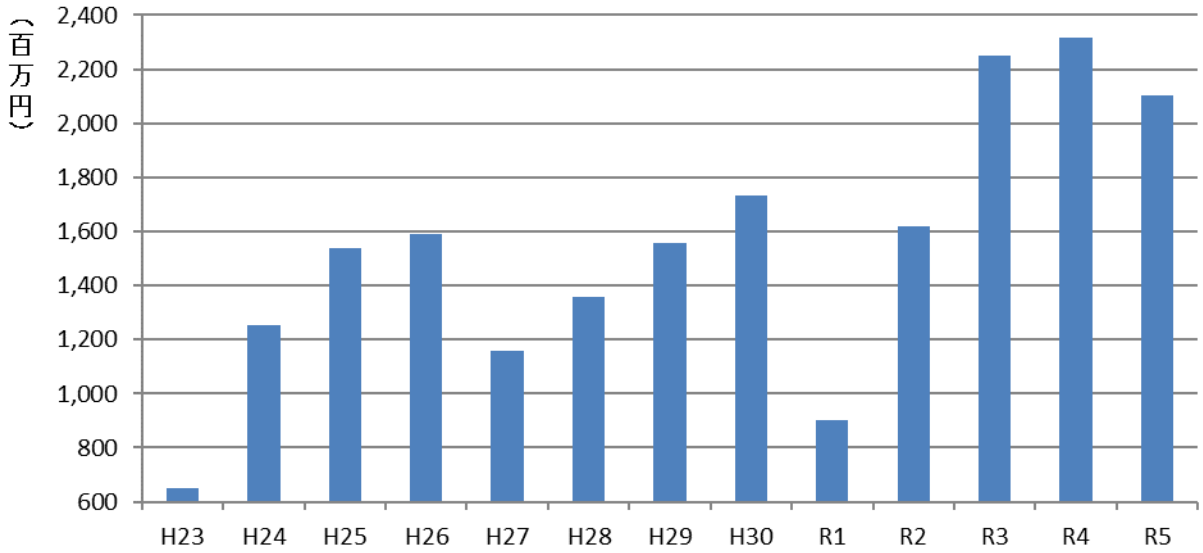


（単位 百万円）

年　　度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
経常損益	694	639	294	93	▲ 420	209	▲ 19	203	197	756	675	118	▲ 196
純　損　益	652	604	283	53	▲ 433	199	199	178	170	717	629	92	▲ 212

3　利益剰余金残高

○　利益剰余金は、純損益の赤字により減少し、前年度比▲2 億 1,500 万円



（単位 百万円）

年　　度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
剰余金残高	652	1,255	1,539	1,591	1,159	1,357	1,557	1,734	904	1,621	2,250	2,318	2,103
前年度比	－	92.5	22.6	3.4	▲ 27.2	17.1	14.7	11.4	▲ 47.9	79.3	38.8	3.0	▲ 9.3

4　収益

○　医業収益は、新規入院患者の増等により、前年度比＋10 億 2,100 万円（+6.0%）
- 入院診療収益は、整形外科や循環器内科などの新規入院患者の増等により前年度比＋7 億 2,800 万円（＋5.8%）
- 外来診療収益は、診療単価（薬物療法や透析患者等）の増等により前年度比＋2 億 5,600 万円（＋6.1%）

（単位　百万円、%）

区　　分	R5	R4	比較 増減額	比較 増減率
営業収益	20,800	20,443	357	1.7
うち医業収益	17,998	16,977	1,021	6.0
うち入院診療収益	13,258	12,530	728	5.8
うち外来診療収益	4,471	4,215	256	6.1
うち運営費負担金	1,899	1,883	16	0.8
うち補助金	582	1,225	▲ 643	▲ 52.5
営業外収益	99	95	4	4.2
うち運営費負担金	13	13	0	0.0
臨時利益	0	1	▲ 1	－
総　　収　　益	20,899	20,539	360	1.8
目的積立金取崩額	59	74	▲ 15	－
合　　計	20,957	20,613	344	1.7
運営費負担金合計	1,912	1,896	16	0.8

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

（単位 百万円）

区　　分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
営業収益	14,978	15,678	15,738	16,181	16,839	17,222	17,325	17,816	18,453	19,972	20,241	20,443	20,800
うち医業収益	12,538	13,232	13,763	14,164	14,828	15,189	15,367	15,861	16,518	16,141	16,046	16,977	17,998
うち入院診療収益	9,537	10,120	10,722	10,959	11,371	11,471	11,632	11,993	12,371	12,087	11,630	12,530	13,258
うち外来診療収益	2,713	2,866	2,803	2,968	3,196	3,438	3,452	3,594	3,878	3,824	4,131	4,215	4,471
うち運営費負担金	2,200	2,100	1,670	1,692	1,700	1,708	1,650	1,637	1,634	1,742	1,938	1,883	1,899
うち補助金	132	211	108	106	72	66	65	75	78	1,854	1,930	1,225	582
営業外収益	153	141	165	122	142	128	118	159	104	82	83	95	99
うち運営費負担金	66	53	45	40	37	28	23	20	18	16	14	13	13
臨時利益	3	0	0	0	0	0	232	0	0	0	0	1	0
総　　収　　益	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324	20,539	20,899
目的積立金取崩額												74	59
合　　計	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324	20,613	20,957
運営費負担金合計	2,266	2,153	1,715	1,732	1,737	1,736	1,673	1,657	1,652	1,758	1,952	1,896	1,912

5　費用

○　医業費用は、給与費や材料費の増等により、前年度比＋5億5,300万円（＋2.9%）

・給与費は、給与改定等により増加

・材料費は、手術件数や薬物療法の増等による診療材料費や医薬品費等の増により増加

・経費は、医療機器などの機器賃借料の増等により増加

・控除対象外消費税等は、手術用ロボット購入に係る増等により前年度比＋5,100万円（＋6.1%）

（単位　百万円、%）

区分	R5	R4	比較	
			増減額	増減率
営業費用	21,061	20,389	672	3.3
医業費用	19,803	19,250	553	2.9
うち給与費	10,340	10,131	209	2.1
うち材料費	5,185	4,852	333	6.9
うち経費	2,877	2,796	81	2.9
うち減価償却費	1,296	1,410	▲ 114	▲ 8.1
うちその他医業費用	105	61	44	72.1
一般管理費	373	305	68	22.3
控除対象外消費税等	885	834	51	6.1
営業外費用	33	31	2	6.5
臨時損失	16	27	▲ 11	▲ 40.7
総費用	21,111	20,447	664	3.2

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。（以下同じ）

（単位 百万円）

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
営業費用	14,315	15,080	15,524	16,135	17,323	17,087	17,419	17,685	18,328	19,267	19,620	20,389	21,061
医業費用	13,476	14,302	14,902	15,241	16,442	16,247	16,592	16,772	17,380	18,106	18,483	19,250	19,803
うち給与費	7,266	7,473	7,690	8,098	8,926	8,575	8,877	8,950	9,036	9,633	9,712	10,131	10,340
うち材料費	3,322	3,487	3,710	3,680	3,884	4,040	4,166	4,306	4,602	4,549	4,609	4,852	5,185
うち経費	1,816	2,053	2,176	2,198	2,238	2,204	2,286	2,252	2,362	2,529	2,577	2,796	2,877
うち減価償却費	1,031	1,238	1,267	1,203	1,332	1,373	1,208	1,204	1,324	1,368	1,550	1,410	1,296
うちその他医業費用	41	51	59	62	62	55	56	59	55	56	35	61	105
一般管理費	489	429	302	311	359	305	280	287	254	261	340	305	373
控除対象外消費税等	350	349	319	584	522	535	547	626	694	900	798	834	885
営業外費用	122	100	85	75	77	54	43	87	33	32	28	31	33
臨時損失	45	36	11	41	13	10	13	25	27	40	46	27	16
総費用	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388	19,338	19,695	20,447	21,111

令和5年度収支実績の前年度対比

山口県立病院機構

【医業収益】
入院診療収益は、新規入院患者の増等により増加
外来診療収益は、診療単価の増等により増加

【医業費用】
給与費は、給与改定等により増加
材料費は、診療材料費や医薬品費等の増により増加
経費は、医療機器などの機器賃借料の増等により増加
減価償却費は、建物減価償却費の減等により減少

【その他費用】
控除対象外消費税は、手術用ロボット購入に係る増等により増加

◆対比表 （損益計算書ベース） （単位 千円）

区 分	R4	R5	差額	主な増減内容（前年度対比）
収益の部	20,538,605	20,898,597	359,992	
営業収益	20,443,116	20,799,583	356,467	
医業収益	16,976,604	17,998,369	1,021,765	
うち入院診療収益	12,529,992	13,257,813	727,821	新規入院患者の増
うち外来診療収益	4,215,060	4,470,627	255,567	診療単価の増（総合C）
運営費負担金収益	1,883,401	1,899,428	16,027	
補助金収益	1,225,432	581,599	△ 643,833	
その他営業収益	357,679	320,186	△ 37,493	受託収入の減
営業外収益	94,497	98,537	4,040	
運営費負担金収益	12,738	12,651	△ 87	
その他営業外収益	81,759	85,886	4,127	
臨時利益	992	478	△ 514	
費用の部	20,446,388	21,110,761	664,373	
営業費用	20,388,596	21,061,187	672,591	
医業費用	19,249,687	19,803,224	553,537	
給与費	10,130,963	10,339,800	208,837	給与改定等による増
材料費	4,851,536	5,185,385	333,849	診療材料費や医薬品費等の増による増
経費	2,796,473	2,877,062	80,589	機器賃借料の増等による増
減価償却費	1,409,764	1,296,277	△ 113,487	建物減価償却費の減等
その他医業費用	60,951	104,699	43,748	
一般管理費	304,849	373,443	68,594	
控除対象外消費税等	834,060	884,520	50,460	手術用ロボット購入に係る増等による増
営業外費用	31,153	33,349	2,196	
臨時損失	26,639	16,226	△ 10,413	
当期純利益	92,217	△ 212,164	△ 304,381	
目的積立金取崩額	73,861	58,827	△ 15,034	
（経常利益）	117,864	△196,416	△ 314,280	

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆令和5年度収支実績の前年度対比表(部門別内訳)

前　年　度　対　比

(単位　千円)

区分	R4収支実績 A				R5収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(前年度対比)		
	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部
収益の部	18,248,862	2,103,296	186,447	20,538,605	18,560,824	2,157,310	180,463	20,898,597	311,962	54,014	△5,984	359,992			
営業収益	18,171,384	2,085,286	186,446	20,443,116	18,482,550	2,136,570	180,463	20,799,583	311,166	51,284	△5,983	356,467			
医業収益	15,398,897	1,577,707	0	16,976,604	16,374,532	1,623,837	0	17,998,369	975,635	46,130	0	1,021,765			
うち入院診療収益	11,161,207	1,368,785	0	12,529,992	11,838,071	1,419,742	0	13,257,813	676,864	50,957	0	727,821	新規入院患者の増 (10,852人→11,055人)	入院延患者数の増 (59,902人→61,299人)	
うち外来診療収益	4,006,835	208,225	0	4,215,060	4,266,941	203,686	0	4,470,627	260,106	△4,539	0	255,567	診療単価の増 (19,343円→20,974円)	外来延患者数の減 (28,842人→27,378人)	
運営費負担金収益	1,322,773	400,342	160,286	1,883,401	1,311,240	407,725	180,463	1,899,428	△11,533	7,383	20,177	16,027	周産期医療に要する経費の減		看護師養成確保事業に要する経費の増
補助金収益	1,194,283	31,149	0	1,225,432	550,842	30,757	0	581,599	△643,441	△392	0	△643,833			
その他営業収益	255,431	76,088	26,160	357,679	245,936	74,250	0	320,186	△9,495	△1,838	△26,160	△37,493			
営業外収益	76,486	18,011	1	94,497	77,796	20,740	0	98,537	1,310	2,729	△1	4,040			
運営費負担金収益	4,696	8,042	0	12,738	4,915	7,736	0	12,651	219	△306	0	△87			
その他営業外収益	71,790	9,969	1	81,759	72,881	13,004	0	85,886	1,091	3,035	△1	4,127			
臨時利益	992	0	0	992	478	0	0	478	△514	0	0	△514			
費用の部	17,989,978	2,148,531	307,880	20,446,388	18,606,595	2,126,556	377,611	21,110,761	616,617	△21,975	69,731	664,373			
営業費用	17,952,227	2,128,902	307,467	20,388,596	18,573,989	2,109,587	377,611	21,061,187	621,762	△19,315	70,144	672,591			
医業費用	17,164,972	2,084,716	0	19,249,687	17,743,119	2,060,105	0	19,803,224	578,147	△24,611	0	553,537			
給与費	8,662,949	1,468,014	0	10,130,963	8,863,151	1,476,649	0	10,339,800	200,202	8,635	0	208,837	給与改定等による増	給与改定等による増	
材料費	4,754,183	97,353	0	4,851,536	5,085,230	100,155	0	5,185,385	331,047	2,802	0	333,849	診療材料費や医薬品費の増		
経費	2,475,584	320,888	0	2,796,473	2,530,443	346,620	0	2,877,062	54,859	25,732	0	80,589	機器賃借料の増	給食委託費の増等	
減価償却費	1,217,880	191,884	0	1,409,764	1,167,854	128,423	0	1,296,277	△50,026	△63,461	0	△113,487	建物減価償却費の減等による減	電気設備による建物減価償却費の減等による減	
その他医業費用	54,375	6,577	0	60,951	96,442	8,257	0	104,699	42,067	1,680	0	43,748	研修費の増		
一般管理費	0	0	304,849	304,849	0	0	373,443	373,443	0	0	68,594	68,594			給与費の増等
控除対象外消費税等	787,256	44,186	2,618	834,060	830,870	49,482	4,168	884,520	43,614	5,296	1,550	50,460	手術用ロボット購入に係る増等による増		
営業外費用	11,593	19,560	0	31,153	16,380	16,969	0	33,349	4,787	△2,591	0	2,196			
臨時損失	26,158	68	413	26,639	16,226	0	0	16,226	△9,932	△68	△413	△10,413			
当期純利益	258,884	△45,234	△121,433	92,217	△45,770	30,754	△197,148	△212,164	△304,654	75,988	△75,715	△304,381			
目的積立金取崩額	70,705	3,156	0	73,861	55,857	2,970	0	58,827	△14,848	△186	0	△15,034			
(経常利益)	284,050	△ 45,166	△ 121,020	117,864	△ 30,022	30,754	△ 197,148	△196,416	△314,072	75,920	△76,128	△314,280			
(経常利益　本部費配賦込)	173,546	△ 56,095	0	117,451	△ 187,740	△ 8,676	0	△ 196,416	△361,286	47,419	0	△313,867			

経常収支比率	105.21%	97.44%	50.81%	103.43%	99.84%	101.45%	47.79%	99.07%

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

令和5年度収支計画と収支実績の対比

山口県立病院機構

【医業収益】
入院診療収益は、入院診療単価の減等により減少
外来診療収益は、外来延患者数の減等により減少

【医業費用】
給与費は、職員数の減等により減少
材料費は、患者数の減に伴う診療材料費の減により減少
減価償却費は、建設改良の減等により減少

◆対比表　（損益計算書ベース）　　（単位　千円）

区　　分	収支計画	収支実績	差額	主な増減内容（計画対比）
収益の部	22,007,688	20,898,597	△ 1,109,091	
営業収益	21,913,298	20,799,583	△ 1,113,715	
医業収益	19,641,710	17,998,369	△ 1,643,341	
うち入院診療収益	14,698,618	13,257,813	△ 1,440,805	入院診療単価の減
うち外来診療収益	4,627,364	4,470,627	△ 156,737	外来延患者数の減
運営費負担金収益	1,899,079	1,899,428	349	
補助金収益	79,339	581,599	502,260	
その他営業収益	293,170	320,186	27,016	
営業外収益	94,390	98,537	4,147	
運営費負担金収益	13,046	12,651	△ 395	
その他営業外収益	81,344	85,886	4,542	
臨時利益	0	478	478	
費用の部	22,006,862	21,110,761	△ 896,101	
営業費用	21,944,720	21,061,187	△ 883,533	
医業費用	20,531,281	19,803,224	△ 728,057	
給与費	10,742,698	10,339,800	△ 402,898	職員数減に伴う給与費の減
材料費	5,219,132	5,185,385	△ 33,747	診療材料費の減
経費	3,090,012	2,877,062	△ 212,950	
減価償却費	1,319,470	1,296,277	△ 23,193	建設改良の減
その他医業費用	159,969	104,699	△ 55,270	研修費の減
一般管理費	454,208	373,443	△ 80,765	職員数の減に伴う給与費の減
控除対象外消費税等	959,231	884,520	△ 74,711	
営業外費用	40,029	33,349	△ 6,680	
臨時損失	22,113	16,226	△ 5,887	
当期純利益	826	△212,164	△ 212,990	
目的積立金取崩額	0	58,827	58,827	
（経常利益）	22,939	△196,416	△ 219,355	

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆令和5年度収支計画と収支実績との対比表（部門別内訳）

計　画　対　比

（単位　千円）

区分	R5収支計画　A				R5収支実績　B				差額　（B-A）				主な増減理由（計画対比）		
	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部
収益の部	19,557,355	2,262,880	187,453	22,007,688	18,560,824	2,157,310	180,463	20,898,597	△996,531	△105,570	△6,990	△1,109,091			
営業収益	19,479,568	2,246,277	187,453	21,913,298	18,482,550	2,136,570	180,463	20,799,583	△997,018	△109,707	△6,990	△1,113,715			
医業収益	17,872,756	1,768,954	0	19,641,710	16,374,532	1,623,837	0	17,998,369	△1,498,224	△145,117	0	△1,643,341			
うち入院診療収益	13,196,554	1,502,064	0	14,698,618	11,838,071	1,419,742	0	13,257,813	△1,358,483	△82,322	0	△1,440,805	入院延患者の減（161,406人→145,328人）	入院診療単価の減（24,000円→23,161円）	
うち外来診療収益	4,361,195	266,169	0	4,627,364	4,266,941	203,686	0	4,470,627	△94,254	△62,483	0	△156,737	外来延患者の減（207,765人→206,701人）	外来延患者数の減（34,190人→27,378人）	
運営費負担金収益	1,309,986	401,640	187,453	1,899,079	1,311,240	407,725	180,463	1,899,428	1,254	6,085	△6,990	349		精神病院の運営に要する経費の増	看護師養成確保事業に要する経費の減
補助金収益	77,059	2,280	0	79,339	550,842	30,757	0	581,599	473,783	28,477	0	502,260			
その他営業収益	219,767	73,403	0	293,170	245,936	74,250	0	320,186	26,169	847	0	27,016			
営業外収益	77,787	16,603	0	94,390	77,796	20,740	0	98,537	9	4,137	0	4,147			
運営費負担金収益	5,465	7,581	0	13,046	4,915	7,736	0	12,651	△550	155	0	△395			
その他営業外収益	72,322	9,022	0	81,344	72,881	13,004	0	85,886	559	3,982	0	4,542			
臨時利益	0	0	0	0	478	0	0	478	478	0	0	478			
費用の部	19,301,677	2,243,440	461,745	22,006,862	18,606,595	2,126,556	377,611	21,110,761	△695,082	△116,884	△84,134	△896,101			
営業費用	19,260,710	2,222,265	461,745	21,944,720	18,573,989	2,109,587	377,611	21,061,187	△686,721	△112,678	△84,134	△883,533			
医業費用	18,362,266	2,169,015	0	20,531,281	17,743,119	2,060,105	0	19,803,224	△619,147	△108,910	0	△728,057			
給与費	9,190,544	1,552,154	0	10,742,698	8,863,151	1,476,649	0	10,339,800	△327,393	△75,505	0	△402,898	職員数の減	職員数の減	
材料費	5,116,493	102,639	0	5,219,132	5,085,230	100,155	0	5,185,385	△31,263	△2,484	0	△33,747	診療材料費の減		
経費	2,721,364	368,648	0	3,090,012	2,530,443	346,620	0	2,877,062	△190,921	△22,028	0	△212,950	委託費の減	委託費の減	
減価償却費	1,188,534	130,936	0	1,319,470	1,167,854	128,423	0	1,296,277	△20,680	△2,513	0	△23,193	建設改良の減		
その他医業費用	145,331	14,638	0	159,969	96,442	8,257	0	104,699	△48,889	△6,381	0	△55,270	医療従事者等確保費の減		
一般管理費	0	0	454,208	454,208	0	0	373,443	373,443	0	0	△80,765	△80,765			職員数の減に伴う給与費の減
控除対象外消費税等	898,444	53,250	7,537	959,231	830,870	49,482	4,168	884,520	△67,574	△3,768	△3,369	△74,711			
営業外費用	21,717	18,312	0	40,029	16,380	16,969	0	33,349	△5,337	△1,343	0	△6,680			
臨時損失	19,250	2,863	0	22,113	16,226	0	0	16,226	△3,024	△2,863	0	△5,887			
当期純利益	255,678	19,440	△274,292	826	△45,770	30,754	△197,148	△212,164	△301,449	11,314	77,144	△212,990			
目的積立金取崩額					55,857	2,970	0	58,827	55,857	2,970	0	58,827			
（経常利益）	274,928	22,303	△274,292	22,939	△30,022	30,754	△197,148	△196,416	△304,950	8,451	77,144	△219,355			
（経常利益　本部費配賦込）	28,065	△ 5,126	0	22,939	△ 187,740	△ 8,676	0	△ 196,416	△215,806	△3,549	0	△219,355			

経　常　収　支　比　率	101.43%	101.00%	40.60%	100.10%	99.84%	101.45%	47.79%	99.07%

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

令和５年度業務実績評価

１　令和５年度業務実績の自己評価結果

（１）自己評価の方法

① 年度計画の個別項目ごとに達成状況を５段階評価（５点、４点、３点、２点、１点）
※３点が標準（達成度 90～100％未満）

⇩

② 年度計画の４つの大項目ごとに達成状況を５段階評価（ｓ、ａ、ｂ、ｃ、ｄ）
※ｂが標準（評点①の単純平均値 2.7 以上 3.4 以下）
（ｄ/1.8 以下、ｃ/1.9～2.6、ｂ/2.7～3.4、ａ/3.5～4.2、ｓ/4.3 以上）

⇩

③ 年度計画全体の達成状況を５段階評価（Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）
※Ｂが標準（評点②の加重平均値 2.7 以上 3.4 以下）
（Ｄ/1.8 以下、Ｃ/1.9～2.6、Ｂ/2.7～3.4、Ａ/3.5～4.2、Ｓ/4.3 以上）

（２）自己評価の結果

◆全体的な状況

中期計画全体の進捗は「概ね順調」（Ｂ評価）

◆評定概要

区　　分	評　価	評点別項目数					評　点	評　定
	項目数	5点	4点	3点	2点	1点	平均値	
業　務　の　質　の　向　上	47	6	27	14	0	0	3.8	a
業務運営の改善及び効率化	7	0	4	3	0	0	3.6	a
財　務　内　容　の　改　善	1	0	0	0	1	0	2.0	c
そ　の　他　重　要　事　項	3	2	0	1	0	0	4.3	s
全　　体	58	8	31	18	1	0	3.4	B

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの

２　令和５年度の主要な成果

（１）業務の質の向上

①　医療の提供

ア　県立総合医療センター

（ア）県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供

（イ）機能強化に関する基本構想について、県が専門的な意見等を集約し、当構想に反映することを目的に設置した「県立総合医療センター機能強化基本構想検討委員会」に参画し、専門的な見地から基礎資料作成や検証等により支援したことにより、「県立総合医療センター機能強化基本構想」が県において策定

また、「県立総合医療センター施設整備基本計画策定業務委託審査委員会」にて、県が行う業者選定に、委員として参画するとともに、基本計画の策定に必要な調査、支援等を実施

（ウ）地域がん診療連携拠点病院として、新たに導入した手術支援ロボットダビンチ等を活用して、がん患者の病態・病状に応じた低侵襲のがん治療を提供

（エ）がんゲノム医療連携病院として、各診療科や他院からの依頼により、原因不明のがんや希少がんなどの患者に対して、がん遺伝子パネル検査を実施

（オ）山口県初となる半導体ＰＥＴ－ＣＴ装置を活用し、患者に対して、より正確ながんの早期診断や低侵襲な検査を実施

（カ）消化器内視鏡センターにおいて、鎮静化における苦しみや痛みの少ない内視鏡検査を行い、胃がんや大腸がんを早期に発見し、低侵襲な内視鏡治療を実施

（キ）てんかん支援拠点病院として、てんかんに対する高密度脳波計や、脳波ビデオ同時記録装置等による高度な治療を提供するとともに、県民公開講座にて、「脳卒中とてんかん」について、情報発信・普及啓発を実施

（ク）心血管カテーテル治療室において、心臓疾患に対する高度専門医療を提供

（ケ）糖尿病教育入院を実施し、患者の痛態に応じた適切な治療を進めるとともに、糖尿病治療に必要な知識を習得できるよう支援

（コ）人工関節センターでは、全国でも極めて例が少ないロボット２台体制による手術を実施。人工関節（股・膝）置換術件数は西日本でトップクラス

・人工関節（股・膝）置換術件数 885 件（計画 600 件）

（サ）院内で 365 日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施

（シ）能登半島地震において、県からの要請を受け、ＤＭＡＴを派遣し、被災地で医療活動を実施

（ス）へき地（萩市相島）の巡回診療において、悪天候などにより、医師が現地に赴けない場合において、オンライン診療できる体制整備を実施

（セ）感染症指定医療機関として、他院では受け入れが困難な重症患者や妊婦等を含む多数の新型コロナウイルス感染症患者に適切な医療を提供

イ　県立こころの医療センター

（ア）精神科救急医療や司法精神医療に積極的に取り組むとともに、地域社会や他の医療機関と連携し、質の高い医療を提供

（イ）認知症疾患医療センターにおいて保健医療機関・介護機関と連携を図り、相談・支援体制を充実

（ウ）他院では受け入れが困難な精神症状の重い新型コロナウイルス感染症患者を受入
（エ）能登半島地震において、県からの要請を受け、ＤＰＡＴを派遣し、被災地で医療活動を実施

ウ　地域医療への支援
患者支援連携センターにおいて、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制を強化（総合Ｃ）
・紹介率 90.5％（50％以上）、逆紹介率 120.6％（70％以上）
※括弧内は地域医療支援病院の承認要明確化

エ　医療従事者の確保、専門性の向上
（ア）看護学生や薬学生に対し、ブースを設けた実地での職場紹介や近隣の看護部設置大学への訪問に加え、インターネットを活用した効果的な採用情報の発信に努めるとともに、Ｗｅｂを交えた採用試験の追加実施、随時実施を強化
（イ）山口県立大学と連携協定を締結し、看護人材の確保・育成のため、修学資金返還支援給付金制度の活用の推進やプレ臨地実習(21 名参加)等の実施
（ウ）山口大学医学部附属病院と連携協定を締結し、山口大学医学部附属病院の医療人育成センターを活用し、防府市内の医療従事者を含め、研修などを通じて、最新の技術や知識を習得できる体制を整備
５年度においては、コメディカル育成支援部門研修など、２月からの参加により防府市内の医療機関から 13 名参加（防府医師会５名、病院機構８名）
（エ）山口県看護協会と連携協定を締結し、地域医療の発展に寄与するため、看護人材の確保及びその育成についての連携を強化
（オ）山陽小野田市立山口東京理科大学との連携協定に基づき、連携研修等を実施し、薬学部初の卒業生となる研修参加者から２名の採用予定者を確保
（カ）看護師不足に対応するため、人材育成・採用担当の専任職員を配置し、専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協働して、新人看護師の離職防止や教育指導を充実

オ　医療安全対策、患者サービスの向上
（ア）院内迅速対応システム（ＲＲＳ）を活用し、患者の急激な病態悪化を予防
（イ）医薬品に関する院内情報誌を定期的に発行するなど、安全管理の充実に向けた取組を推進
（ウ）医療過誤案件の発生を受け、医療安全研修会の開催や医療安全管理マニュアルの周知などを行い、再発防止策を徹底
（エ）ヒヤリ・ハットを未然に防いだ事例などを「Good job 報告」として集約することで、インシデント報告数が増加
（オ）がん等に罹患した患者の治療と仕事の両立に関する相談を実施するほか、離職している患者への就職支援を実施（総合Ｃ）
（カ）病棟再編による各診療センターの専門性に合わせ、専門・認定看護師がそれぞれの専門分野に関連するチーム医療を実施（総合Ｃ）
長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム(地域生活支援ＭＤＴ)による退院支援を実施（こころＣ）
（キ）患者及び来院者のニーズを把握するため、患者満足度アンケートを実施

・総合医療センター患者満足度　　98.4%（計画 95.0%）
・こころの医療センター患者満足度　92.0%（計画 95.0%）

（ク）県民公開講座のハイブリッド形式による開催、病院広報誌の定期発行、テレビ番組「やまぐち医療最前線」の放送などにより、健康情報や高度・専門医療の現状などの情報を発信

カ　施設設備の整備

・手術支援ロボットダビンチの導入や血液がんに対する化学療法を安全に行うため、無菌治療室を整備。腫瘍への血流の状態を検査・治療する血管造影 X 線診断装置を更新（総合C）
・薬剤分包機、立体炊飯器の更新（こころC）

②　医療に関する調査及び研究

疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託（総合C）

③　医療従事者等の研修

医療関係の実習生の受入を実施
（初期臨床研修医 37 人、後期臨床研修医 11 人）（総合C）

（２）業務運営の改善等

①　内部統制の推進

内部監査規程やリスク管理規程に基づき、両病院を対象に内部監査を実施

②　効率的・効果的な業務運営、経営改善

ア　経営管理体制の強化

専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同し、経営改善に取り組むなど経営基盤を強化（総合C）

イ　組織・人員配置の弾力的運用

医療需要に応じた体制の強化や医師の働き方改革に向けたタスクシフトの推進等のため診療放射線技師２名及び臨床工学技士１名を増員（総合C）

総合医療センターの機能強化・建替えを着実に進めるため、設計施工監理室を新設(本部)

ウ　２病院の連携

医薬品の共同調達については、山口大学医学部附属病院を加えた３病院による調達を行うことで、効率的な業務運営を実施（値引率　R4:16.9% → R5:15.7%）

③　収益の確保、費用の節減･適正化

ア　収益の確保

きめ細やかなベットコントロールにより病床を効率的に運用（総合C）

イ　費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約･購入を実施

・材料費対医業収益比率 31.1%（計画 31%以下）　（総合C）
・材料費対医業収益比率　6.1%（計画 6%以下）　（こころC）

診療材料費について、共同購入組織に加盟することにより、共同購入品を利活用し価格抑制

（３）財務内容・経常収支の改善

ア　収支実績

病院機構全体の経常利益は、赤字となった。

（単位：千円）

区　分	R５計画	R５実績	差引
総合医療センター	274,928	△30,022	△304,950
こころの医療センター	22,303	30,754	8,451
機構本部	△274,292	△197,148	77,144
法人全体	22,939	△196,416	△219,355

イ　収益及び費用の状況

収益の部は、前年度に比べ、359,992 千円増加

《参考》

区　分		R5 実績	
		総合医療センター	こころの医療センター
入院	延患者数（人）	145,328	61,299
	診療単価（円）	81,971	23,161
外来	延患者数（人）	206,701	27,378
	診療単価（円）	20,974	7,440

費用の部は、前年度に比べ、664,374 千円増加

ウ　経営指標の状況

- 法人全体経常収支比率　99.1%（前年度 100.6%）
- 総合医療センター経常収支比率　99.8%（前年度 101.6%）
- こころの医療センター経常収支比率　101.4%（前年度 97.9%）
- 総合医療センター修正医業収支比率　92.3%（前年度 89.7%）
- こころの医療センター修正医業収支比率　78.8%（前年度 75.7%）
- 総合医療センター流動性比率　168.1%（前年度 152.9%）
- こころの医療センター流動性比率　122.8%（前年度 136.8%）

（単位：百万円）

区　分	総合Ｃ	こころＣ	機構本部	法人全体
総収益	18,561	2,157	180	20,899
経常収益	18,560	2,157	180	20,898
営業収益	18,483	2,137	180	20,800
うち医業収益	16,375	1,624	0	17,998
営業外収益	78	21	0	99
臨時利益	0	0	0	0
総費用	18,607	2,127	378	21,111
経常費用	18,590	2,127	378	21,095
営業費用	18,574	2,110	378	21,061
うち医業費用	17,743	2,060	0	19,803
営業外費用	16	17	0	33
臨時損失	16	0	0	16
経常損益	△30	31	△197	△196
純利益	△46	31	△197	△212

（４）その他重要事項

① 人事に関する事項

ア　職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、随時試験の実施及びＷｅｂ面接の採用等適切な採用試験の実施（総合Ｃ）

イ　看護師等修学資金等を返還中又は返還予定の看護師や看護学生を対象とする修学資金返還支援給付金枠の採用試験を実施し、看護職員 10 名（看護師 9 名、助産師１名）の採用予定者を確保。

ウ　山陽小野田市立山口東京理科大学との連携協定に基づき、連携研修等を実施し、薬学部初の卒業生となる研修参加者から２名の採用予定者を確保（再掲）

② 就労環境に関する事項

ア　職員満足度アンケート調査や職員ヒアリングの結果をもとに、夜間勤務帯の人員確保等、勤務環境の改善を促進

イ　夜間勤務者の負担軽減のため、夜間看護業務従事者子育て応援給付金制度により、夜勤協力給付金を支給

ウ　全職員を対象とした勤怠管理システムを導入し、本格運用を開始するなど、医師をはじめとする医療従事者の働き方改革の実現に向けた体制を整備

また、医療機関勤務環境評価センターから労働時間の削減に向けた取組等に対する評価を受け、山口県から時間外労働の上限を延長する特定労務管理対象機関に指定を受けた。

３　対処すべき課題

（１）県立病院として対応すべき医療の充実（県立総合医療センター）

総合医療センターの機能強化については、がんや心筋梗塞などの循環器病等に対する高度急性期医療の強化、生殖医療や遺伝子医療をはじめとする最先端医療への取組、災害医療・感染症医療などの政策的医療への対応、へき地医療・小児医療などの地域医療への貢献という大きく４つの視点に基づいて図っていく。

具体的には、全県レベルの基幹病院としての役割を担うために、がんなどの高度専門医療における最先端の低侵襲治療や、がんゲノム医療等の充実、今後とも起こり得る新たな感染症に備え、ＩＣＵ・ＨＣＵ・感染症病床の陰圧個室化など、診療機能の強化を図る必要がある。

また、５年度の決算状況を踏まえ、感染症の影響が依然として続く中において、収益面では、新規入院患者の増加や病床稼働を高める取組、費用面では、診療材料費をはじめとする経費削減に向けた取組などを行い、経営の健全化を図る必要がある。

さらに、センターが将来にわたって本県の感染症医療、高度専門医療等の拠点として中核的役割を一層果たしていけるよう、昨年度県が策定した「県立総合医療センター機能強化基本構想」や今後策定される基本計画に基づき、センターの計画地内への移転建替えが発表された県環境保健センターを含め、県や関係機関とも連携を強化し、建替えをはじめとする機能強化の着実な実現に取り組む必要がある。

（２）県立病院として対応すべき医療の充実（県立こころの医療センター）

精神科救急医療の基幹病院としての役割を積極的に担うとともに、児童・思春期、認知症等の専門診療体制の機能強化に向けて、多職種チーム医療の一層の充実を図っていく。

また、災害拠点精神科病院として機能充実に努めるとともに、災害派遣精神医療チーム（ＤＰＡＴ）のさらなる充実を図る必要がある。

（３）医療従事者の確保

機能強化の効果的な実現に向けては、施設整備のみだけでなく、これらを有効活用できる人材確保及び育成が極めて重要である。高度専門医療を担う医師、看護師や薬剤師、臨床工学技士等を確保・育成するために、目的積立金を活用し、関係機関と連携した研修環境等の整備やインセンティブ制度の活用、医療従事者の勤務環境改善などを行う必要がある。

また、今年度より適用される、働き方改革に対応していくため、ＩＣＴの活用や多様な勤務形態の導入、タスクシフト/シェアの推進など、長時間労働を是正し、業務負担の軽減に向けた取組等を行う必要がある。

◇　令和５年度決算

１　企業会計ベース

（１）貸借対照表の要旨（令和 6 年 3 月 31 日現在）　（単位　百万円）

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	15,003	固定負債	12,103
有形固定資産	12,312	資産見返負債	1,115
土地	3,736	長期借入金	3,208
建物	5,421	移行前地方債償還債務	2,562
器械備品	3,150	退職給付引当金	5,218
その他	5	流動負債	3,907
無形固定資産	92	一年以内返済予定	1,214
投資その他の資産	2,600	未払金	2,021
流動資産	6,281	その他	672
現金及び預金	2,796	【負債合計】	16,010
未収入金	3,422	資本金	3,144
その他	63	資本剰余金	27
		利益剰余金	2,103
		【純資産合計】	5,274
合計	21,284	合計	21,284

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。以下同じ。

（２）損益計算書の要旨（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）　（単位　百万円）

費用及び損益の部		収益の部	
営業費用	21,061	営業収益	20,800
医業費用	19,803	医業収益	17,998
一般管理費	373	運営費負担金収益	1,899
その他	885	補助金	582
		その他	320
営業外費用	33	営業外収益	99
臨時損失	16	運営費負担金収益	13
当期純利益	△212	その他	86
		臨時利益	0
合計	20,899	合計	20,899

２　官庁会計ベース　（単位　百万円）

収入の部		支出の部	
営業収益	20,620	営業費用	18,808
医業収益	17,998	医業費用	18,417
運営費負担金収益	1,899	一般管理費	355
補助金収益	582	その他	37
その他	141		
営業外収益	99	営業外費用	33
運営費負担金収益	13	臨時損失	0
その他	86	資本支出	2,138
臨時利益	0	建設改良費	1,093
資本収入	1,056	償還金	1,046
長期借入金	1,047	資金収支	795
その他資本収入	0		
合計	21,775	合計	21,775

令和５年度事業年度評価（判断の目安）

〈個別項目別評価〉

評価基準	数値目標に関する項目	取組目標に関する項目 （左欄の項目以外の項目）
5　年度計画を十二分に達成	達成度 120%以上	取組の結果、所期の目的を上回る優れた成果等を得たとき
4　年度計画を十分達成	達成度 100～120%未満	取組の結果、所期の目的を上回る成果等を得たとき
3　年度計画を概ね達成 【標準】	達成度 90～100%未満	取組の結果、所期の成果等を得たとき
2　年度計画はやや未達成	達成度 70～90%未満	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき
1　年度計画は未達成	達成度 70%未満	取組が行われていないとき

〈大項目別評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値 （小数点以下第２位四捨五入）
s　中期計画の進捗は優れて順調	４．３以上
a　中期計画の進捗は順調	３．５　～　４．２
b　中期計画の進捗は概ね順調　【標準】	２．７　～　３．４
c　中期計画の進捗はやや遅れている	１．９　～　２．６
d　中期計画の進捗は遅れている	１．８以下

〈全体評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値をそれぞれ各大項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値（小数点以下第２位四捨五入）
S　中期計画の進捗は優れて順調	４．３以上
A　中期計画の進捗は順調	３．５　～　４．２
B　中期計画の進捗は概ね順調　【標準】	２．７　～　３．４
C　中期計画の進捗はやや遅れている	１．９　～　２．６
D　中期計画の進捗は遅れている	１．８以下